

令和 5 年度モニタリングシート

【施設名等】

施設名	大洲市交流促進センター鹿野川荘	位置	大洲市肱川町宇和川 588 番地 1
指定管理者名	ひじかわ開発株式会社	所管課	肱川支所 TEL:0893-34-2311

【施設の概要】

設置年月日	平成 9 年 4 月 1 日	構造	鉄筋コンクリート 3 階建
設置目的	都市との交流を促進するための拠点施設、市民の健康及び休養施設		
施設機能	1 階 風呂・休憩室・小宴会場・レストラン 2 階 客室(和室)・大宴会場 3 階 客室(洋室)		
利用料金等	利用料金については、大洲市交流促進センター条例に規定する範囲内で、市長の承認を得て指定管理者が定める。		
開館・閉館	休館日 なし(メンテナンス日を除く) 開館時間 午前 11 時から午後 9 時 宿泊者:午後 3 時から利用最終日の午前 10 時		
指定管理業務内容	①鹿野川荘の施設又は設備の利用の許可に関する業務 ②鹿野川荘の維持管理に関する業務 ③鹿野川荘の利用に係る料金の収受に関する業務 ④鹿野川荘の設置目的を発揮するための事業に関する業務 ⑤上記業務のほか、鹿野川荘の運営に関する事務のうち、市長のみが行うことのできる権限に関する事務を除く		
施設管理体制	ひじかわ開発株式会社職員(正社員 8 名・臨時パート職員 10 名)		

【施設利用者数】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
R5 年度	3,827 人	4,040 人	3,066 人	3,044 人	2,624 人	661 人	1,170 人
R4 年度	3,283 人	3,771 人	2,119 人	2,976 人	3,036 人	2,391 人	3,218 人
比較	544 人	269 人	947 人	68 人	▲412 人	▲1,730 人	▲2,048 人
	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計	
R5 年度	3,727 人	4,003 人	4,158 人	3,163 人	3,932 人	37,415 人	
R4 年度	3,632 人	3,673 人	4,054 人	3,483 人	3,910 人	39,546 人	
比較	95 人	330 人	104 人	▲320 人	22 人	▲2,131 人	

【指定管理者としての収入・支出(決算)】

収入内訳	収入金額	支出内訳	支出金額
純売上高	104,578,219 円	仕入高	34,041,878 円
雑収入	1,175,611 円	人件費	45,730,044 円
指定管理料	28,270,000 円	管理経費	54,168,866 円
休業補償	0 円	法人税、住民税及び事業税	5,335,638 円
給付金・助成金	600,000 円	営業損失	▲4,652,596 円
合 計	134,623,830 円	合 計	134,623,830 円

【サービス向上に向けた取り組み】

R5 年度	<p>新型コロナウイルス感染症が「5 類感染症」となり、人が集まりやすくなったことから、規模の大きい集客が可能となった。営業活動も従来の形態へ戻し、対面での営業活動も再開、ソーシャルディスタンスを気にせず接客をすることが可能となった。</p> <p>宴会需要の急速な回復により、労働力が不足することとなったが、お客様のご要望を最大限受け入れられるよう、外注及び日雇いアルバイトにより人材の確保を行った。</p>
R4 年度	<p>コロナ過による一喜一憂の営業状態から中々抜け出すことができない状況が続いたが、感染症対策を徹底しながら、人数制限付きではあるが集客型イベントの開催、小規模な宴会の受注を行うなど、徐々にではあるが業務内容を平常に戻している。</p> <p>燃料費や原材料のコストが高騰している状況であるが、可能な限りお客様への負担がかからないよう経費節減に努めながら運営を行った。</p>

【利用者から要望と対応状況】

利用者からの苦情・要望等	利用者からの苦情・要望への対応
利便性のよいWi-Fiが整備されていない	令和 6 年 1 月にWi-Fiが整備(大洲市)され、宿泊客室では快適なWi-Fi利用が可能となった。
BS放送が映らない	令和 5 年度に独自のBSアンテナを設置する予定であったが、予算の確保が困難となり繰り越すこととなった。
駐車場が狭く車を駐車できないことがある	宿泊客に関しては、施設玄関前の駐車場を優先的に利用できるよう、チェックイン開始時間である午後 3 時以降、宿泊客用の駐車枠を確保するよう努めた。

【指定管理者の自己検証】

<p>令和 5 年度は、新型コロナウイルス感染症が「5 類感染症」となったことから、人の動きが活発になってきたことに加え、大規模宴会も制限なく開催することが可能となり、昨年より順調に回復していた日帰りの宴会は前年比で倍増した。感染症によるキャンセルは発生するものの、件数は減少、売上げへの影響は限定的なものとなった。</p> <p>一方、地政学リスクや気候変動に伴う、原油の高騰、仕入れ食材の高騰が経営に大きく影響した。特に、食材については、頻繁に値上げが発生し、時間的な要因で原価計算の対応が困難な状況となった。令和 6 年度は、原価計算の予実管理にマンパワーをより投入し、原価率を 10 ポイント落とすことを目標として、健全な運営に向けて改善を図りたい。</p> <p>電力料金については、現在の電力会社との価格交渉により、どの電力会社よりも低い価格となっているが、今後の情勢次第では、価格改定の可能性も十分に考えられる状況である。</p> <p>温泉営業に必要な重油価格が高止まりの状況で変動も少なくなっている。今後の運営については、水道光熱費と食材原価率の低減を最必要課題として取り組む必要があると考えている。</p>

【施設所管課の検証・評価】

法定点検や報告など、施設管理については概ね良好であり、仕様書等に基づいた管理・運営が行われている。

工事施工に伴い、一時的に集客数が減少したものの、新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に移行となったこともあり、基本的に集客数は増加傾向となっている。

その一方で、全国的にも大きな課題・問題となっている人手不足の影響は例外なく当施設にも及んでおり、その対応として近年、注目を集めている日雇いアルバイトの採用により対応を行っているとのこと。スタッフの待遇は利用者アンケートからも好評を得ていることから、日雇いアルバイトも含め、今後も「利用者に寄り添った運営」を心がけていきたい。

また、各種仕入価格の高騰は未だ続いていることから、健全な運営に向けて、原価計算や分析等に取り組んでいきたい。